

第70回 全国健康保険協会 東京支部評議会 議事概要

開催日	令和2年12月21日 月曜日 15:00 ~ 16:30
開催場所	全国健康保険協会東京支部会議室 (オンライン)
出席評議員	浅川評議員、飯島評議員、恩藏評議員、木津川評議員、嶋村評議員、杉村評議員、田中評議員、傳田評議員、藤田評議員 (五十音順)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全国健康保険協会の支部評議会について 2. 令和3年度保険料率について 3. インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法等について 4. 保険者機能強化アクションプラン (第5期) 及び令和3年度全国健康保険協会事業計画 (案) について 5. 令和3年度東京支部事業計画 (骨子案) について
議事概要 (主な意見等)	<p>各議題について事務局より資料説明後、評議員と意見交換。</p> <p>1. 全国健康保険協会の支部評議会について</p> <p>互選により議長を決定。議長より議長代理を指名。 (質疑なし。)</p> <p>2. 令和3年度保険料率について</p> <p><事業主代表> 準備金の取り扱いに関して、東京支部の方針を聞きたい。 コロナの厳しい状況が次第に明らかになってきている。11月以降、失業者が増えているという情報もあるので、少なくとも10%は維持してほしい。</p> <p><学識経験者> コロナの影響により医療費等の先行きが不透明なため、保険料率10%据え置きというのも理解できるが、例年みられる花粉症やインフルエンザの季節的な医療費増が今年は見られない。今後は不透明だが、コロナにかかる1人当たり医療費も現状は多くない。いずれにせよ、令和元年度決算の収支差 (5,399億円の黒字) を見ると加入者一人当たり1万3千円以上の黒字となり、10%据え置きというのは違和感がある。</p> <p><事業主代表> 景況感は悪い。11月から一段と厳しくなっている。令和3年度は準備金を取り崩して、</p>

保険料率を下げるべきではないか。

<事業主代表>

準備金を取り崩し、保険料率を下げるということも必要だと思うが、下げた後をどうしていくかも考慮する必要がある。急激な保険料率上昇は避けたい。今後のことを考えると10%維持が良いのではないか。

→<事務局>

準備金についての東京支部の考え方は定まっていない。ただ、準備金を積み上げ続けることは他支部の評議会でも疑問の声が上がっている。東京支部としても、準備金の使途など具体的な案を考え、本部に提案していきたい。

3. インセンティブ制度に係る令和元年度実績の評価方法等について

(質疑なし。)

4. 保険者機能強化アクションプラン（第5期）及び令和3年度全国健康保険協会事業計画（案）について

<被保険者代表>

退職後の保険証回収について、事業主・人事担当者であっても、月途中退職でも月末まで使用できるものと誤解しているケースが散見される。広報を強化すべき。

→<事務局>

誤解されているケースがあることは承知している。保険証回収率の低い事業所に個別にアプローチしていく予定であるので、ご意見のようなケースについても周知していきたい。

<被保険者代表>

退職後の保険証回収についての周知は、ホームページでの広報がメインとなるのか。

→<事務局>

ホームページでも行っているが、加えて、退職者が多い時期に紙媒体で事業所あての広報も実施している。

<学識経験者>

保険証回収に限らず、広報については、実施しているが当事者に届いていないという課題はずっとある。SNS等の活用も検討し、今後もさらなる工夫が必要。

<事業主代表>

自身も健康経営に取り組んでいるが、社会全体にはまだまだ浸透していないと感じる。健

康経営単体の広報ではなく、ジェネリックの広報など広く事業主の興味を引く内容での広報をしたらどうか。

→<事務局>

コラボヘルスについては、それぞれの事業所・事業主ごとに状況が異なるので対応が難しいところではあるが、事業計画の具体的な内容については次回の評議会でご説明させていただくこととしている。

<学識経験者>

ジェネリック医薬品について、やはり先発医薬品のほうが良いと思う人が一定数いると思う。効能効果が同等であるということをもっと周知したほうがよいのではないか。

→<事務局>

具体的な事業計画については次回の評議会でご説明させていただくが、ジェネリック医薬品については、加入者理解と併せて医療機関等への広報も必要であり、関係団体と連携して進めてまいりたい。

<被保険者代表>

コロナの影響もあり、K P I の達成が滞る部分もあるのではないかと思う。アクションプランや事業計画にコロナの影響を記載するべきではないか。

→<事務局>

特に保健事業について、令和2年度上期はコロナの影響を大きく受けたが、下期については、予定の事業をほぼ計画通り進めている。現状のコロナ第3波の影響も懸念されるが、今後判明する実施結果について注視していきたい。また、K P I は、達成すべき指標・数値であることをあらためて打ち出していきたい。

→<事務局>

事業計画の詳細については、本日ご意見をいただいた内容を反映したうえで、次回の評議会でご議論いただきたい。

5. 令和3年度東京支部事業計画（骨子案）について

（質疑なし。）

（全体を通して）

（質疑なし。）

以上

特記事項

・傍聴者：なし

・次回の開催予定：令和3年1月18日 月曜日 10：00～